きぼう

令和８年 10 月 29 日（木）
静 岡 大 学 教 育 学 部
附 属 静 岡 小 学 校
６年 学年便り 11月号

『きぼうのきずな　みんなが主役　全力で　一生の思い出を』を目指して

いよいよ修学旅行が来週に迫ってきました。１０月は、コース別研修の抽選から始まり、班編成、ホテルの部屋割り、班別研修の計画等、修学旅行に向けて話し合いを重ねてきました。その話し合いを通して、自分の思いを伝えるだけでなく、友達の考えに耳を傾けたり、みんなが納得できる方法を考えたりする姿も見られるようになってきました。

修学旅行は、東京で楽しい時間を過ごすだけの三日間ではありません。授業で学んでいることと、実際に見たり、聞いたり、感じたりすることをつなげ、普段の学校生活では得られない知識や経験を、自分自身の学びにしてほしいと思っています。そして、仲間と過ごすからこそ生まれる気付きやつながりも、大切にしてほしいと考えています。

そこで、保護者説明会でもお伝えさせていただきましたが、学年では修学旅行の目標を

「きぼうのきずな　みんなが主役　全力で　一生の思い出を」

としました。「きぼうのきずな」には、６年生９９人のつながりを大切にし、学年全体を一つの仲間として過ごしてほしいという思いがあります。「みんなが主役」には、誰かに任せるのではなく、一人一人が自分で考え、行動しながら、みんなで修学旅行をつくってほしいという願いがあります。そして「全力で　一生の思い出を」には、学びも、仲間との時間も、楽しむことも全力で取り組み、９９人みんなの心に残る三日間にしたいという思いがあります。

また、各学級でも、修学旅行に向けて「どんな三日間にしたいか」を考え、それぞれのクラス目標を決めました。

１組は「**Smile Memory Important Learn Enjoy**」言葉の頭文字をつなげると「**SMILE**」になります。
２組は「**きぼう２組のきずな今東京に集結　安全を守り最高に楽しい思い出を我らに**」
３組は「**一人一人が全力で思い出を創り　笑顔あふれる三日間**」

３組では、修学旅行実行委員が話し合ってきた思いを受けながら「きぼう３組として、特にどんなことを大切にしたいか」を考えました。学年目標に込められた「みんなが主役」「全力で」という思いを、自分たちのクラスではどのように表していくのか。話し合いの中で出てきたのが「一人一人が全力で思い出を創る」という言葉でした。誰かが頑張ってくれるのを待つのではなく、自分自身が修学旅行を創る一人として全力で関わる。そして、一人一人の力が集まることで、クラスみんなが笑顔になれる三日間にする。「一人一人が全力で思い出を創り　笑顔あふれる三日間」には、そんな３組の思いが込められています。「創」という感じにもこだわりがあり「自分たちらしさ、きぼうらしさあふれるものを“つくる”にはこの漢字がいいよね」という意見に賛同が集まり、この漢字を採用しました。漢字一文字にもこだわりをしっかりと含められる子どもとの修学旅行がどのようなものになるか期待が膨らみます。

そして「楽しい」という気持ちも、一人一人が大切にしてほしいと思います。自分が楽しむことはもちろんですが、自分の楽しさだけを考えるのではなく、友達が楽しんでいるかにも目を向けてほしいと思います。誰かの「楽しい」が、みんなの「楽しい」につながる。そんな三日間を９９人で創っていきたいと思います。

修学旅行では、予定通りにいかないことや、友達と意見が合わないこともあるでしょう。そんなときこそ、これまで築いてきた「きずな」を大切にし、自分だけでなく周りの友達にも目を向けてほしいと思います。一人一人の行動が、９９人の修学旅行をつくっていきます。

いよいよ、これまでみんなで準備してきた三日間が始まります。学年目標と学級目標を胸に、一人一人が主役となって、学び、考え、仲間と関わり、思い切り楽しんでほしいと思います。そして、９９人みんなにとって、一生の思い出となる三日間を、自分たちの手で創っていきたいと思います。